



知っていますか?



外来生物(植物)について

外来生物とは、人為的に外国や日本国内の別の地域から持ち込まれた生物をいいます。多くの動物や植物がペットや展示用、食用、研究などの目的で輸入されています。一方、荷物や乗り物などに紛れ込んだり、付着して持ち込まれたものも多くあります。これらは、意図的、非意図的の違いはありますが、人間の活動に伴って日本に入ってきているという点で共通しています。

日本に定着している外来種は2000種を超えるといわれており、そのうち4分の3は植物が占めています。

外来生物の中には、農作物や家畜、ペットのように、私たちの生活に欠かせない生き物もたくさんいます。

明治以降に日本にやってきたのは外来生物

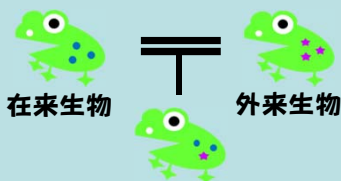


元々その地域に自然分布していた在来生物

※渡り鳥や海流によって種子が運ばれる植物など自然の力で移動するものなので外来生物には該当しません。

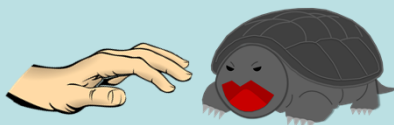
〈外来生物が引き起こす3つの悪影響〉

◆日本固有の生態系への影響



●在来生物と交雑して雑種をつくる。

◆人の生命・身体への影響



●毒を持ち、人をかんだり刺したりする。

◆農林水産業への影響



●農林水産物を食べる。畑を踏み荒らす。



これらの問題を解決するため**外来生物法**が作られました。

外来生物法は、上記の3つの被害を防止するために制定されています。この法律は、在来生物の生態系や人の身体、生命に重大な被害を及ぼすおそれのある生物が、「特定外来生物」に指定されています。また、これに基づき必要に応じた防除が行われています。その他、生態系に悪い影響を及ぼしうる外来生物は「要注意外来生物」として指定されています。

※アレチウリは、法律で生きたままの運搬は禁止されている。その為、抜き取り後にはゴミ袋などに入れ、その場にまとめておくこと。茶色に枯れた後に移動させ、燃えるゴミとして処理。

〈一関出張所管内でも確認された外来生物〉



◆◆**特定外来生物**
アレチウリ
・ウリ科 1年生草本 ・北米原産
一株あたり2万5千以上の種子を作る。
驚異的な繁殖力で、農作物の被害、在来種の成育の邪魔する可能性がある。



◆◆**特定外来生物**
オオハンゴンソウ
・キク科 多年生草本 ・北米原産
種子と地下茎で増える。
一株あたり約1,600個の種子を作る。
全国的に爆発的に繁殖している。



◆◆**要注意外来生物**
セイタカアワダチソウ
・キク科 多年生草本 ・北米原産
種子と地下茎で増える。
根から周辺の植物の成育を妨げる科学物質を出す。

◆◆編集後記◆◆ 特定外来生物などの植物において、適切な処理方法を知ることが大切です。地域にもとからある生物を大切にしていきましょう。(Y)